

3

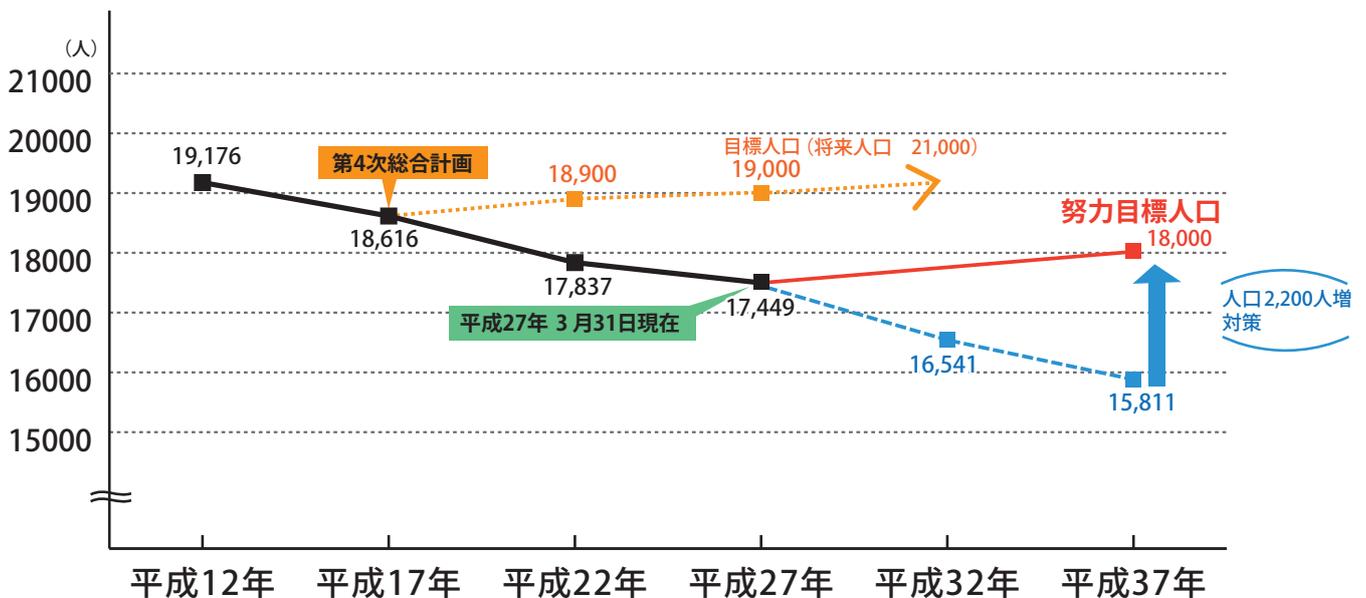
新しい人口の考え方

平成37(2025)年度の 努力目標人口1万8,000人

日本の総人口そのものが減少しているなか、全国の多くの市町村において今後の人口減少が予測されており、基山町における将来人口推計でも平成37年では15,811人と現状の17,634人(平成25年)と比べ、1,823人の減少が予測されます。

今後、更なる住環境の整備、教育・子育て環境の充実、福祉医療の充実、にぎわい拠点の創出などに取り組み、人口の定住化や居住機能の向上を図ることで、流出口を抑制していくことが必要となります。この厳しい社会情勢をふまえ、基山町では、この10年間を定住人口獲得の最後の機会と認識し、宅地開発を前提とした人口増対策に取り組み、平成37年の努力目標人口1万8,000人をめざします。

また、新しい人口の考え方として、町民の「活動量」が増えれば、まちの活力をさらに拡大させることができます。そのため本計画では、従来からの「定住人口」に加え、新たに「交流人口」、「まちづくり人口」という視点で基山町の人口を考え、人口減少社会の中において、より質の高い行財政運営に努めることで、住民満足度を高め、流出口の抑制、Uターン者などの受入れに積極的に取り組みます。



推計値/国立社会保障人口問題研究所

平成37(2025)年度の 新しい人口の目標

定住人口

努力目標人口
1万8,000人

「住んでみたい」を実現する基盤づくりや精神的な豊かさの向上に視点を置いた住民満足度の高いまちづくりを進めます。

交流人口

(平成25年度 約452万2,821人)
目標人口 500万人

「訪れる価値あるまち」としての魅力を高め、交流の起爆剤づくりを進めます。

観光入込み客数 + イベント参加者数 + 駅・高速バス停利用者数

まちづくり人口

(平成25年度 約5,643人)
目標人口 7,000人

定住または職業の有無に関わらず、町内で『社会的・生産的活動』を行っている人口をその対象ととらえます。従来の生産年齢人口などの区分にとらわれず、まちの活力を示す指標です。

基山の知恵くらぶ員数 + ボランティア団体など

※基山の知恵くらぶ:第5次総合計画策定にあたって町民ワークショップや地域別座談会などに参加し、知恵をしばっていただいた方を「基山の知恵くらぶ」員とし、カウントを行っています。

前述のシティプロモーションに加え、基山町総合戦略及び人口ビジョンなどにより、目標人口の実現をめざします。